

第3回 はなやか KANSAI 魅カアップアワード

～関西インバウンド大賞～

募集要項

関西の魅カアップに向け、インバウンド観光需要取込みと在住外国人の居住・生活サポートに資するすぐれた取組を募集します！

「はなやか KANSAI 魅カアップアワード」とは

ビザの発給要件の緩和や航空路線の拡大などにより、2017年の訪日外国人旅行者数は約2,869万人と急増しています。今後は、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会をはじめ、関西で開催されるワールドマスタースゲームズなど、世界規模のスポーツ大会の開催が連続して予定されており、その経済効果を関西へ波及させるためには、さらなる訪日外国人の受入環境の整備・充実を進め、関西の魅力を上向きし、広く発信することが重要です。

本アワードは、「はなやかKANSAI 魅カアップフォーラム」(*)の主要事業として、2016年度に創設されました。優れた外国人受入環境整備への取組を表彰することによって、外国人受入環境整備に関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、先進モデル事例として広く発信・周知することにより、他地域における取組への機運醸成と展開を促進し、拡大するインバウンド観光需要の取込みによる地方創生とグローバル人材・企業の誘引に資することを目的とします。

第3回目となる今回も、インバウンド観光需要の取込みや在住外国人の居住・生活サポートに寄与する事業・活動に対して、総合的に優れた取組および各評価項目において突出して優れた取組を、「はなやかKANSAI 魅カアップフォーラム」に優良事例として推薦し、同フォーラムにおいて関西インバウンド大賞、他数件の表彰を予定しています。

* 「はなやかKANSAI 魅カアップフォーラム」とは

外国人観光客に限らず、ビジネスマン、留学生等の受け入れに向けて、外資系企業、総領事館、留学生等の外国人の視点に立って、関西の強みや克服すべき課題について、参画機関が共有・議論する場として、2015年6月に設置（事務局：関西経済連合会）。

【フォーラム参画機関】

関西広域連合、自治体、関西経済連合会、関西経済同友会、関西商工会議所連合会、関西観光本部、

日本貿易振興機構（ジェトロ）大阪本部、中小企業基盤整備機構近畿本部、近畿総合通信局、外務省大阪分室、大阪税関、

近畿農政局、近畿経済産業局、近畿地方整備局、近畿運輸局

◆応募のメリット

メリット1

優れた事業・活動としてのPR 効果

- ・表彰結果は広く公表されることから、受賞実績は対外的なPR につながります。

メリット2

事業・活動への信用力の向上

- ・有識者による評価を経て表彰されることで、事業や活動への信用がより一層高まります。

メリット3

事業・活動のさらなるモチベーションアップ

- ・皆様方の事業や活動が表彰されることで、スタッフ・関係者のモチベーションアップや自信につながります。

メリット4

提供する事業・活動を整理・見直す機会

- ・本アワードへの応募を通じて、皆様方の事業や活動を改めて整理・見直すことのできる機会となります。

応募対象の分野と応募対象者

◆応募対象の分野

アワードでは、急増するインバウンド観光の経済効果を広く関西各地域に波及させるとともに、中・長期滞在する留学生や在住外国人にとっても安心して活躍できる外国人受入環境整備に関わる以下の事業や活動を募集の対象としています。

応募対象のテーマ・分野

	テーマ		分野
訪日観光客の取込み に係る事業・活動	テーマ① 観光・訪日客を誘引する関西のさらなる魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方部における訪日外国人受入環境整備による地方創生と、関西のさらなる魅力向上に資する取組み 	①観光情報の発信・プロモーション ②観光商品・サービスの造成 ③観光地づくりへの体制整備 ④観光人材の確保・育成
	テーマ② 住み心地の良い生活環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不安なく、安心して暮らすための生活サポート、生活の拠り所となるコミュニティ形成に資する取組み 	①きめ細かな生活サポート ②コミュニティ・交流
在住外国人の居住・生活サポートに 資する事業・活動	テーマ③ 学び、働き、活躍できる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留学生への生活支援や交流の場づくり、就職サポート、対日投資や起業家人材の呼びこみに資する取組み 	①学び、活躍できる環境づくり ②ビジネスのしやすい環境整備

(1) 訪日観光客の取込みに係る事業・活動

①観光情報の発信・プロモーション

外国人観光客への地域の魅力発信やプロモーション、移動や滞在の利便性に資する多言語対応の情報・案内などに係る事業・活動への取組み

《例えば、こんな事業・活動への取組みです！》

☞外国人目線での継続的な情報発信

- ・在住外国人が取材・編集し、徹底した外国人目線で、地域の旅行情報や生活、文化情報を集約したポータルサイトを発信

☞海外現地旅行会社等への情報発信・PR

- ・個人旅行者向け海外旅行会社、航空会社等に対する観光コンテンツ情報等の発信

☞プロガー等によるプロモーション

- ・ブログ、SNS、海外旅行者向け宿泊情報サイトを活用し、計画的・戦略的に情報発信

☞ICT活用による多言語案内

- ・外国人観光客の使用言語に合わせた観光資源の価値や魅力の解説、サインや観光案内の整備

②観光商品・サービスの造成

地域の持つ歴史や文化、自然などの観光資源を生かした付加価値の高い体験型・交流型の観光商品など、外国人観光客の多様なニーズに応えた新たな商品・活動の提供

《例えば、こんな事業・活動への取組みです！》

☞グリーンツーリズム・エコツーリズム

- ・既存の国内の旅行者を対象とした受入れ環境に加えて、外国人旅行者への日本の農山漁村の魅力味わう多種多様な体験プログラムと農家民宿で、外国人観光客をおもてなし

☞クールジャパン資源の観光への活用

- ・地域の酒蔵が中心となって、外国の日本酒愛好家等を対象とする酒蔵巡りを通じ、地元の食や文化、歴史を全身で楽しむ「酒蔵ツーリズム」を実施
- ・金属加工等の産業集積地として、ものづくりの現場の見学を通じた工場の魅力を体感する観光の取組を実施
- ・海外でも話題になったアニメやドラマの巡礼型の観光振興により国内外の観光客を集客

③観光地づくりへの体制整備

「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役であるDMOの設立等による観光推進

《例えば、こんな事業・活動への取組みです！》

☞ツーリズムビューロー等設置

- ・自治体及び観光協会がツーリズムビューローを設置し、旅行業事業、情報発信事業、受入地のレベルアップ事業を実施
- ・観光地域づくりプラットフォームを設置し、構成市町それぞれ独自の「農林業(食)」、「自然・環境」、「歴史文化」資源を総合的に組み合わせ、体験型教育旅行やインバウンド観光客の受入を推進

④観光人材の確保・育成

観光経営マネジメント人材の育成や「おもてなし」マインドを持ったガイドや通訳案内士の育成、あるいは、外国人人材の登用など、質の高い活動を提供できる人材の育成・確保

《例えば、こんな事業・活動への取り組みです！》

☞産学官連携による教育プログラムの構築

- ・専門学校、大学等の教育機関と連携し、観光人材教育プログラム研修を実施し、外国人おもてなし人材を育成

☞在住外国人の登用

- ・日本の文化や事情にも理解の深い在住外国人を「目利き」（アドバイザー）に、地域の資源視察やモニターツアー、ワークショップを実施し、新たな魅力の発掘、魅力あるインバウンド商品を造成

（２）在住外国人の居住・生活サポートに資する事業・活動

①きめ細かな生活サポート

居住、医療、防災、子弟の教育、宗教文化などの不安なく、安心して暮らすためのきめ細かな生活サポート

《例えば、こんな事業・活動への取り組みです！》

☞暮らしのサポート

- ・外国籍住民向けの住宅情報、子弟の進路支援から身近な生活情報などの「暮らしの情報サイト」の整備
- ・外国人赴任者への暮らしのサポーターネットワークづくり

☞医療等の緊急時対応

- ・電話同時通訳サービスによる 365 日 24 時間の母国語通訳体制の運営
- ・ボランティア通訳者による院内各科の外来診察、各種検査、薬の説明、会計までの付き添い通訳

②コミュニティ・交流

異文化交流による多様性の相互理解、闊達なコミュニケーションの場づくりや生活の拠りどころとなる外国人コミュニティの構築

《例えば、こんな事業・活動への取り組みです！》

☞外国人コミュニティ

- ・地域で暮らす外国人の学び・集う多文化共生の地域コミュニティづくり
- ・在住外国人への関西で暮らす魅力や交流イベント・パーティーなどの情報提供

③学び、活躍できる環境づくり

留学生への生活支援や交流の場づくり、アルバイトや就職支援など学びを支える環境づくり、就職サポートや企業における外国人社員の積極登用

《例えば、こんな事業・活動への取組みです！》

☞留学生サポート

- ・暮らし、アルバイト、文化交流などの情報を提供する「留学生情報サイト」の整備
- ・留学生ホームステイによる人的交流
- ・企業とタイアップした良質なアルバイト先を留学生に提供

☞就職サポート

- ・留学生へのキャリアカウンセリングとグローバル人材を求める企業との出会いの場を提供
- ・留学生インターンシップの積極受入れ・採用と従業員間の相互理解とコミュニケーションを深め、海外取引業務拡大を推進

④ビジネスのしやすい環境整備

投資しやすい環境整備、創業スタートアップ支援など、対日投資や起業家人材の呼びこみ

《例えば、こんな事業・活動への取組みです！》

☞対日投資サポート

- ・日本国内の情報収集や営業代行等、日本での海外企業の事業化や進出を支援
- ・日本での起業をめざす外国人へのスタートアップ支援

◆応募対象者

訪日観光客の取込みや在住外国人の居住・生活サポートに資する上記の事業・活動に取り組む、以下の事業者、実施団体を応募の対象とします。

なお、関西2府5県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）および三重県、鳥取県、徳島県において実施されている事業・活動を対象とします。

- （1）営利団体、非営利団体を問わず、自治体の事業・活動、個人の事業・活動も対象としています。
- （2）企業規模、業種や事業の継続年数は問いません。
- （3）公序良俗に反する事業を行っていない、重大な法令違反・労働災害を起こしていないことなどのコンプライアンスを遵守していることを条件とします。
- （4）応募時点で実施していない事業及び応募から1年以内に終了が見込まれる事業は対象外とします。
- （5）応募内容が他の知的財産権等を侵害している場合、または係争中の場合は対象外とします。
- （6）社会通念上不適切と思われる組織からの応募は対象外とします。

評価基準と評価方法

◆評価基準

応募案件について、以下の基準により定量的・定性的な側面から評価します。

- (1) 優れた事業・活動を目指す理念、訪日・在住外国人のニーズに応えるための着眼点や方法により、成果をもたらしていること。
- (2) 新しい独自の観点によって今までにない工夫など、新規性・独創性のある事業・活動であること。
- (3) 事業継続可能な運営体制、関係者・関係機関との連携・協力関係等の事業・活動を展開・発展させる仕組みがあること。
- (4) 取組み事業・活動がもたらす地域イメージの向上や地域との親和性等の社会的効果があること。
- (5) 他地域の参考となり、広く応用・展開できる事業・活動であること。
- (6) 取組み事業・活動がもたらす地域経済の活性化、雇用の創出等の波及効果があること。

◆評価方法

応募案件については、事前評価（書面／現地調査）および在住外国人によるワーキング会議を経た後、学識経験者等の有識者による評価が行われます。

事前評価（書面）終了後、事務局よりヒアリング（現地調査）にお伺いさせていただく場合がありますので、御了承ください。

なお、評価内容は不開示とさせていただきます。

応募期間

2018年7月18日（水）～2018年9月7日（金）（*期日までに必着）

応募方法と応募書類

近畿経済産業局 WEB サイト

(http://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/30koubo/30_toukou_award.html)にアクセスいただき、応募シートの様式をダウンロードして応募書類をご用意ください。

パソコンをお持ちでない等のご事情により、様式ダウンロード及びメール送信をしていただけない場合は、当募集要項の10ページから12ページにご記入いただき、事務局に事前にお電話によりご連絡いただいた上で、添付書類とともに事務局宛てに郵送ください。(2018年9月7日(金)必着)

応募に必要な書類は以下のとおりです。

No	応募書類	必須/任意	提出形式
1	応募シート 記載例 ① 訪日観光客の取込みに係る事業・活動 (当募集要項13ページ～17ページ) ② 在住外国人の居住・生活サポートに資する 事業・活動 (当募集要項18ページ～22ページ)	必須	・応募シートの様式をダウンロード(こちら)して、記載例(当募集要項13ページ～22ページ)をご参考に、必要事項を記入後、下記のアドレスあてメール送信 ・A4サイズ6ページ以内とすること
2	定款ないし定款に類するもの(団体の規約等)	任意	PDF形式*応募シートとともにメール送信
3	直近事業年度分の決算報告書	任意	PDF形式*応募シートとともにメール送信
4	事業・活動内容等のパンフレットや新聞・雑誌等での紹介記事等	任意	・Microsoft office Wordファイルに貼付 ・A4サイズ5ページ以内とすること *応募シートとともにメール送信
5	事業・活動の内容を表す写真、概要図など (コピーライトの表示など必要があればご記載ください)		

◆応募書類の提出先

応募書類(応募シート(必須)及びその他の任意書類)は以下アドレスあてに、件名「[第3回アワード応募：〇〇〇〇\(貴社\(機関\)名\)](#)」で、メールにて送付してください。

当局的メール受信システムの関係で、受信できる最大容量は10MBとなっております。つきましては、特に任意書類を添付される場合は、ファイルの容量圧縮を行っていただくなど、メール全体の容量を10MB以下にさせていただきますようお願いいたします。どうしても10MBを越えてしまう場合は、個別にお電話かメールでご相談ください。

charm-kansai@meti.go.jp

※応募シート及び任意の必要書類をメールにて送信いただきましたら、受付確認のメールを送信いたします。応募から数日たっても確認メールが届かない場合は、応募が完了していない可能性がありますので、事務局までご確認ください。

◆応募に係る注意事項

- 提出された応募書類等は返却いたしません。
- 提出された応募書類に記載された個人情報、本事業の運営以外の目的には使用いたしません。
- 提出された応募書類に不備がある場合は、評価対象から除外させていただく場合がございます。
- 応募者の資格、応募書類への記載内容等に虚偽等がある場合は、応募書類の受理や受賞を取り消させていただく場合がございます。
- 応募に際し掲載する著作権・肖像権等の知的財産権等については、応募者において事前に対応いただいたうえでご応募ください。

応募に際して、ご不明な点がございましたら下記事務局までお問合せください。

はなやか KANSAI 魅力アップアワード事務局

経済産業省 近畿経済産業局 通商部 投資交流促進課内

〒540-8535 大阪市中央区大手前 1-5-44

TEL : 06-6966 - 6033 FAX : 06-6966 - 6087

http://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/30koubo/30_toukou_award.html

E-mail: charm-kansai@meti.go.jp

受賞者の発表等

◆賞について

「関西インバウンド大賞」他、特別賞（新規性・独創性部門、事業性・継続性部門、社会的効果部門、モデル性部門等）を授与する予定です。

◆受賞者の発表

「はなやかKANSAI魅力アップフォーラム」に優良事例として推薦させていただくお取組の決定は2019年1月頃を予定しております。最終的な受賞者の発表は、ウェブサイトにて、2019年3月頃に実施の予定です。

なお、受賞者には、追って詳細を連絡させていただきます。

◆応募者への広報等へのご協力をお願い

応募者の取組内容は、近畿経済産業局ウェブサイトに掲載し、周知させていただく場合がございますので、ご協力をお願いします。

スケジュール

「第3回はなやか KANSAI 魅力アップアワード」事業スケジュール（予定）

項目	日程
○募集の開始	2018年7月18日（水）～
○応募書類の受付	2018年7月18日（水）～9月7日（金）
○事前評価（書面/現地調査）	2018年9月～
○在住外国人によるワーキング会議	2018年12月頃
○有識者による評価（優良事例のフォーラムへの推薦）	2019年1月頃
○フォーラムによる受賞事業の決定	2019年2月頃
○受賞者発表・表彰	2019年3月頃

※日程については、現時点での予定であるため、前後することがあります。

応募・問合せ先

はなやか KANSAI 魅力アップアワード事務局

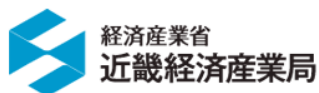
近畿経済産業局 通商部 投資交流促進課

〒540-8535 大阪府中央区大手前 1-5-44

TEL：06-6966-6033 FAX：06-6966-6087

http://www.kansai.meti.go.jp/3-1toukou/30koubo/30_toukou_award.html

E-mail: charm-kansai@meti.go.jp



(記載様式)

※パソコンをお持ちでない等のご事情により、様式ダウンロード及びメール送信をしていただけない場合は、当様式にご記入いただき、事務局に事前にお電話によりご連絡いただいた上で、添付書類とともに事務局宛てに郵送ください。(2018年9月7日(金) 必着)

※記入欄が不足する場合は、適宜拡張してご記入ください。

ただし、シートのページ数はA4サイズ6ページ以内としてください。

※ご参考までに末尾に記載例を2例つけております。

申請日 平成 年 月 日

「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」事務局 御中

団体名

所在地

代表者役職・氏名

第3回はなやか KANSAI 魅力アップアワード応募シート

「第3回はなやか KANSAI 魅力アップアワード」について、下記のとおり応募します。

1. 基本情報 (平成30年7月現在)

団体名			
代表者名	(役職)		
所在地			
設立年月日	平成 年 月 日	スタッフ数	人
業種		HP/URL	
担当者名	(所属・役職)		
電話番号	() -	E-mail	
応募事業での過去の受賞歴			

2. 事業・活動の名称

事業・活動の名称		
事業・活動のテーマ・分野	<input type="checkbox"/> 訪日観光客の取込みに係る事業・活動	<input type="checkbox"/> 在住外国人の居住・生活サポートに資する事業・活動
※該当するテーマにレ点を、該当分野の番号に○印をお付けください。	1 観光情報の発信・プロモーション 2 観光商品・サービスの造成 3 観光地づくりへの体制整備 4 観光人材の確保・育成	1 きめ細かな生活サポート 2 コミュニティ・交流 3 学び、活躍できる環境づくり 4 ビジネスのしやすい環境整備

3. 事業・活動の展開状況

①背景と経緯	※事業・活動の目的と背景、取組みに至った経緯についてご記入ください。
②事業・活動の内容	※事業・活動の内容をご記入ください。 ○取組の実施期間（ 年 月～現在）
③事業・活動の特徴・アピールポイント	※事業・活動の工夫や独自性などの特徴やアピールポイントをご記入ください。
④実施・運営体制	※事業・活動の実施・運営体制をご記入ください。また、関係者・関係機関、地域住民との連携・協力などの関係性についてもご記入ください。

⑤事業・活動の成果	※これまでの利用状況や今後の利用見込み、取組み事業・活動がもたらす地域への波及効果など、事業・活動の成果についてご記入ください。
	※利用者（外国人）からの声をお聞きの場合、感想の主な内容をご記入ください。
	※成果に係る数値情報をご記入ください。 例：外国人観光客／国内観光客別の利用数（訪日観光客の取込みに係る事業・活動の場合）、相談件数、イベント等の集客数、サイト等へのアクセス数など
	※マスコミ等の取材、他地域からの視察や研修等の受け入れがありましたら、取材先と件数、受け入れ先と人数等をご記入ください。

4. 取組上の課題と今後の展開

取組上の課題及び 今後の展開	※取組みを行う上で直面する課題がございましたらご記入ください。また、事業の今後の展開についてもご記入ください。
-------------------	---------------------------------------------------------

記載例①

申請日 平成30年7月31日

「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」事務局 御中

団体名 ○○○の里づくり推進協議会
 所在地 ○○県○○郡○○町○○ 民宿○○内
 代表者役職・氏名 会長 ○○○○

第3回はなやか KANSAI 魅力アップアワード応募シート

第3回「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」について、下記のとおり応募します。

1. 基本情報（平成30年7月現在）

団体名	○○○の里づくり推進協議会		
代表者名	○○○○ (役職) 会長		
所在地	○○県○○郡○○町○○ 民宿○○内		
設立年月日	平成5年10月5日	スタッフ数	5人 (会員数50人)
業種	—	HP/URL	http://www.○○○○.co.jp/
担当者名	△△△△ (所属・役職) 広報担当		
電話番号	(○○) ○○-○○○○	E-mail	○○○○@○○○○.co.jp
応募事業での過去の受賞歴	○○新聞社主催「グリーンツーリズム大賞2010」優秀賞を受賞		

2. 事業・活動の名称

事業・活動の名称	農家民宿を中心とした外国人個人客へのグリーンツーリズム事業	
事業・活動のテーマ・分野	<input checked="" type="checkbox"/> 訪日観光客の取込みに係る事業・活動 <input type="checkbox"/> 在住外国人の居住・生活サポートに資する事業・活動	<input type="checkbox"/> 在住外国人の居住・生活サポートに資する事業・活動
※該当するテーマにレ点を、該当分野の番号に○印をお付けください。	1 観光情報の発信・プロモーション ② 観光商品・サービスの造成 3 観光地づくりへの体制整備 4 観光人材の確保・育成	1 きめ細かな生活サポート 2 コミュニティ・交流 3 学び、活躍できる環境づくり 4 ビジネスのしやすい環境整備

3. 事業・活動の展開状況

<p>①背景と経緯</p>	<p>※事業・活動の目的と背景、取組みに至った経緯についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇県〇〇町〇〇地区は、かつて林業で栄えていましたが、人口流出が進み、小学校の廃校など、過疎化の問題を抱え、限界集落と言われる地域でした。 ・その脱却に向け、町では「水と緑と山村の景観」を生かした田舎暮らし体験交流事業を推進してきました。 ・その一環として、地区内の廃校した小学校の有効活用を地区住民で検討することとなり、〇〇地区では、小学校跡地活用のみならず、地区全体のむらおこしを進めるため、平成5年10月に「〇〇〇の里づくり推進協議会」を設立することとなりました。 ・〇〇大学の協力も得て、地区内のおもてなし資源を発掘し、「懐かしい木造校舎を活用した体験交流施設の整備」とともに、協議会では、棚田の田植え、稲刈り、山菜、キノコ採り、川魚のつかみ取り、炭焼き、木工教室など昔ながらの山村生活を体験するプログラムを提供してきました。 ・また、以前から取り組んできた地区住民による「芝桜の丘」は、現在では広大な敷地に色とりどりの芝桜が咲き誇り、開花時期には大勢の観光客が訪れる程の名所となっています。 ・里山の自然の中での山村体験や農家民宿での地元料理の提供を通じ、都会に住む人が癒しを感じるようなむらづくりに取り組む中で、訪れた留学生が SNS で〇〇地区を紹介し、大きな話題になったことが、インバウンド観光への取組のスタートになりました。 ・協議会では、これまでも協力を頂いている〇〇大学の指導の下、山村暮らし体験プログラムを提供してきた地区住民や農家民宿経営者とともに、外国人受入れ環境整備についてのワークショップを開催したり、簡単な日常会話（英語・日本語）の指さしツールの作成などを実施しました。 ・また、国の補助事業を活用し、サイクリング施設の整備やハイキングロードの整備、地域の魅力を紹介する多言語マップやサインの整備を進めてきました。 ・現地旅行エージェント、個人旅行者向け海外旅行社からの引き合いやタイアップにより、外国人客が年々増加しています。
<p>②事業・活動の内容</p>	<p>※事業・活動の内容をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白壁・黒瓦の古民家、囲炉裏のある農家民宿での地元料理でおもてなし ・サイクリングとトレッキングでの自然や山村生活を体験できる様々なツアーの企画・実施

<p>②事業・活動の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の管理と山道整備ボランティアツアーの実施（外国人の参加もある） ・インターネット及び外国人旅行者向けサイトを活用したプロモーション <p>○取組の実施期間（平成18年5月～現在）</p>
<p>③事業・活動の特徴・アピールポイント</p>	<p>※事業・活動の工夫や独自性などの特徴やアピールポイントをご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「限界集落」といわれるほどの地区であったが、地区住民の力を結集し、世界に誇れる日本の原風景の発信と伝統的な山村生活をまるごと体験して頂き、地元食と地域住民の人柄でおもてなし。 ・空き家等を活用したゲストハウスの整備に当たっては、白壁・黒瓦に統一し、昔ながらの景観を大切にしています。 ・夕日が映る棚田や花の絨毯のように敷き詰められた芝桜、白壁・黒瓦の古民家が点在する美しい山村の眺望を見渡せる里山への山道、沿道を彩る花木や外国語表記の案内板は、地区住民の手により整備したものです。美しい自然を保全しながら、磨きをかけることで、外国人を含む来訪者を迎えています。 ・毎年恒例の芝桜の植樹や山道整備には、ボランティアツアーを企画し、第二のふるさととして地区を愛して頂いているファンやリピーターとして来訪してくれる外国人と地区住民が一緒になって、景観整備をしています。汗をかいた後の地元料理は格別との声とともに、地区住民との交流を深めています。 ・また、来訪者との交流が進化する中で、来訪者の有志の提案により、途絶えていた伝統行事が今年から復活するなど、来訪者参加型のむらおこしが進んできています。
<p>④実施・運営体制</p>	<p>※事業・活動の実施・運営体制をご記入ください。また、関係者・関係機関、地域住民との連携・協力などの関係性についてもご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇地区のむらづくりを推進する任意団体ですが、都市住民や児童・生徒の山村体験や企業等の研修、近年の外国人受け入れを実施し、スタッフ5名で企画・運営を行っています。スタッフの1名は、外国人受け入れの契機となった元留学生で、海外への情報発信と外国人向けプログラムの企画やガイド役としても活躍しています。 ・〇〇地区の祭りなどの伝統行事やイベント時には、〇〇大学の学生をはじめ、多くのボランティアの協力を得て、外国人観光客への案内なども行われています。

<p>④実施・運営体制</p>	<p style="text-align: center;">実施・運営体制</p> <pre> graph TD A["○○○町 ○○○町観光協会"] <--> 連携 C["○○○の里づくり 推進協議会"] B["○○大学"] --> 協力・指導 C C <--> 連携 D["○○体験交流 施設 (小学校跡 地活用施設)"] C <--> 連携 E["森林組合 J A支所"] C --- F["農家民宿 (25軒)"] C --- G["地区住民 ボランティア"] </pre>
<p>⑤事業・活動の成果</p>	<p>※これまでの利用状況や今後の利用見込み、取組み事業・活動がもたらす地域への波及効果など、事業・活動の成果についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人受け入れ環境の整備をスタートした平成 18 年は、欧米の個人客を中心に 120 名が農家民宿を利用して頂きましたが、平成 29 年には、欧米のみならず各国・地域から 2,850 人の利用と 24 倍になりました。個人旅行者向け海外旅行社からの引き合いも増加しており、今後とも増加する見込みです。 ・当地区では、近年の観光によるむらづくりの進展と相まって、Uターンし、農家レストラン等を経営するUターン者も増えてきています。 ・また、当地区の隣の△△地区でも農家民宿が増加しており、他地区にも波及してきています。 ・さらに、以前から地区住民による「芝桜の丘」整備に取り組んできましたが、外国人の受け入れ環境の進展とともに、環境や景観の保全活動がより一層活発化し、白壁・黒瓦の古民家改修や沿道や庭先への花木の植樹など美しいむらづくりが進展しています。 <p>※利用者(外国人)からの声をお聞きの場合、感想の主な内容をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の原風景と伝統的な山村生活、食文化を満喫できたことや何よりも地域住民との交流により、ここに住んでみたいという気持ちにさせられた」との感謝の声を聞きます。また、近年、リピーターも増えてきています。

	<p>※これまでの利用状況や今後の利用見込み（外国人観光客、国内観光客の利用数（訪日観光客の取込みに係る事業・活動の場合）、相談件数、イベント等の集客数、サイト等へのアクセス数）などの数値情報をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地区の農家民宿宿泊客数は、 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 18 年 外国人客 120 名 国内客 4,200 人 ・平成 19 年 外国人客 450 名 国内客 4,150 人 ・平成 20 年 外国人客 750 名 国内客 4,320 人 ・平成 21 年 外国人客 820 名 国内客 4,520 人 ・平成 22 年 外国人客 1,230 名 国内客 4,600 人 ・平成 23 年 外国人客 1,650 名 国内客 4,870 人 ・平成 24 年 外国人客 1,750 名 国内客 4,560 人 ・平成 25 年 外国人客 1,800 名 国内客 4,800 人 ・平成 26 年 外国人客 1,950 名 国内客 5,120 人 ・平成 27 年 外国人客 2,200 名 国内客 5,200 人 ・平成 28 年 外国人客 2,500 名 国内客 5,500 人 ・平成 29 年 外国人客 2,850 名 国内客 5,700 人 <p>※マスコミ等の取材、他地域からの視察や研修等の受け入れがありましたら、取材先と件数、受け入れ先と人数等をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英国 B B C の取材・放映（平成 25 年 5 月 7 日） ・観光庁の視察・取材（平成 26 年 5 月 20 日） ・「日本で最も美しい村連合」加盟自治体の視察 5 件 ・〇〇新聞への掲載（平成 29 年 7 月 30 日付）
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 取組上の課題と今後の展開

<p>取組上の課題及び 今後の展開</p>	<p>※取組みを行う上で直面する課題がございましたらご記入ください。また、事業の今後の展開についてもご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の訪日観光客は、日本の文化や生活に触れることのできる体験型観光へと訪日目的が変化してきており、当地区への来訪は、今後とも増加することが期待されますが、英語でのやりとりが以前にも増して必要になってきています。英語での対応が可能なスタッフが 2 名いますが、人手は慢性的に不足しています。 ・収益性を高め、外国人への充実したサービスが提供できるようスタッフの充実や人材育成が大きな課題となっています。 ・また、本町だけではなく近隣市町村や隣接県とも連携し、1 泊だけではなく、2 泊、3 泊と連泊していただけるような商品造成が行われるよう、自治体・地元・関連機関が連携し、実現していくことが必要と考えています。
---------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

申請日 平成30年7月31日

「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」事務局 御中

団体名 NPO 法人〇〇〇〇インターナショナル
フレンドリー
所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇
代表者役職・氏名 理事長 〇〇〇〇

第3回はなやか KANSAI 魅力アップアワード応募シート

第3回「はなやか KANSAI 魅力アップアワード」について、下記のとおり応募します。

1. 基本情報（平成30年7月現在）

団体名	NPO 法人 〇〇〇〇インターナショナルフレンドリー		
代表者名	〇〇〇〇 (役職) 理事長		
所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇		
設立年月日	平成 12 年 7 月 10 日	スタッフ数	8人 (会員数 120人)
業種	—	HP/URL	http:// 〇〇〇〇.org/
担当者名	△△△△ (所属・役職) 広報担当		
電話番号	(〇〇) 〇〇-〇〇〇〇	E-mail	〇〇〇〇@〇〇〇〇.or.jp
応募事業での過去の受賞歴	〇〇主催「〇〇NPOアワード2012」優秀賞を受賞		

2. 事業・活動の名称

事業・活動の名称	地域と在住外国人との協働による国際交流支援事業	
事業・活動のテーマ・分野	<input type="checkbox"/> 訪日観光客の取込みに係る事業・活動 <input checked="" type="checkbox"/> 在住外国人の居住・生活サポートに資する事業・活動	
※該当するテーマにレ点を、該当分野の番号に○印をお付けください。	1 観光情報の発信・プロモーション 2 観光商品・サービスの造成 3 観光地づくりへの体制整備 4 観光人材の確保・育成	①きめ細かな生活サポート 2 コミュニティ・交流 3 学び、活躍できる環境づくり 4 ビジネスのしやすい環境整備

3. 事業・活動の展開状況

<p>①背景と経緯</p>	<p>※事業・活動の目的と背景、取組みに至った経緯についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人〇〇〇〇インターナショナルフレンドリーは、平成7年1月に発生した「阪神・淡路大震災」を契機に、外国での生活経験のある世話好きのお母さんを中心に、留学生のホームステイ・ホームビジットの受け入れや外国人在住者への通訳支援など行なってきたボランティアグループ「〇〇〇絆の会」を前身としています。 ・活動をスタートしてから5年目、帰国した留学生との海外ネットワークによる国際交流・協力活動などの活動範囲も広がり、若い世代をはじめ会員も増えてきたことから、平成12年7月には、NPO 法人格を取得し、さらに積極的に活動しています。 ・「日本の言葉や習慣がよくわからなく、1日中家に閉じこもりがち」、「気軽にくつろげる居場所が欲しい」といった在住外国人主婦が多いことから、料理が得意な外国人主婦5人が中心となり、「ご自慢料理を学び・楽しむ会」を行っていました。 ・やさしい日本語でコミュニケーションを重ねながら、月1回から週1回と開催頻度を増やして活動を行っていましたが、次第に参加者が増えていき、集まった外国人と日本人が交流できる場として「コミュニティカフェ」を創ろうと考えていました。 ・そのような折に、地元〇〇〇商店街の空き店舗を無償で貸与頂くこととなり、地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理を楽しむ、国際交流スペースとして、平成22年4月に「コミュニティカフェ」がスタートしました。 ・「コミュニティカフェ」は、ワンデイシェフ・システムで、現在、15カ国35名が、日替りランチやカフェで各国のご自慢料理を提供しています。 ・韓国、台湾、ロシア、スペイン、タイ、ベトナムなどメンバーのご自慢料理と合わせて、音楽やサロンなど幅広い文化を体験できるスペースとして、多くの外国人や地域の方々に利用されています。
<p>②事業・活動の内容</p>	<p>※事業・活動の内容をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コミュニティカフェ」では、主に以下の活動を行っています。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理の提供（毎日） （世界の日替わりランチを楽しむ（毎日 11:30～13:30） ・世界の民族音楽を聴く夕べ（第3金曜日） ・サロン・セミナー活動（第1・第4金曜日） 「異文化間コミュニケーション」、「国際結婚が上手くいく秘訣」、「日本のマナー」、「ハラスメント」などをテーマとしたサロン・セミナー

	<p>一の開催（週1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の困りごと相談 <p>○取組の実施期間（平成22年4月～現在）</p>
<p>③事業・活動の特徴・アピールポイント</p>	<p>※事業・活動の工夫や独自性などの特徴やアピールポイントをご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在住外国人からの相談で多いのが、言語の問題です。役所・学校の手続きや病院への付き添いなどには、1回〇〇〇円で通訳を派遣しており、言語も8カ国語対応が可能です。 ・「コミュニティカフェ」は、地域に暮らす外国人女性によるご自慢料理を楽しみながら交流するユニークなカフェレストランで、外国人女性と日本人女性が一緒に活動しています。 ・母国の家庭料理の提供のほか、月1回開催される近隣の大学や地域のサークルによる「民族音楽の夕べ」は、いつも盛会で、多くの地域住民や在住外国人が集い、交流を楽しんでいます。 ・キッズスペースを併設しており、多様な国籍をもつ子育て中のお母さん、市民ボランティアのお母さんが、子供と一緒に参加でき、子供たち同士も仲良く交流しています。
<p>④実施・運営体制</p>	<p>※事業・活動の実施・運営体制をご記入ください。また、関係者・関係機関、地域住民との連携・協力などの関係性についてもご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初は、海外経験のあるお母さんの留学生や在住外国人の身近な生活に密着した生活支援ボランティアとして活動してきましたが、メンバーの増加とともに、活動範囲が広がり、「困りごと相談・通訳支援活動」、「ホームステイ・ホームビジット活動」、「国際交流・協力活動」、そして、「コミュニティカフェの運営」を行っています。 ・それぞれの活動に当たっては、多くの市民ボランティアや〇〇大学等の参加・協力により、活発で楽しい活動となっています。 ・また、〇〇市や〇〇大学等からの委託事業による国際交流事業や生活相談事業なども行っています。 ・助成金等に頼らない自立した事業運営で、メンバーの自由な創意工夫を活かしながら、活動を展開しています。

<p>④実施・運営体制</p>	<p style="text-align: center;">実施・運営体制</p>
<p>⑤事業・活動の成果</p>	<p>※これまでの利用状況や今後の利用見込み、取組み事業・活動がもたらす地域への波及効果など、事業・活動の成果についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開店当初は、外国人を含めて地域の方々の利用でしたが、口コミを通じて、沿線に住む留学生や定住外国人の参加が増えています。特に、「世界の民族音楽を聴く夕べ」などの交流イベントは、満席となっています。 ・「コミュニティカフェ」の活動は、地元〇〇〇商店街へのイベントへの参画をはじめ、商店街の明るさを取り戻すことに一役買っているようです。 ・また、昨年には、好評だったタイのご自慢料理を提供していたグループが、近隣の空き店舗にお店をオープンしました。店舗経営のインキュベータとしても機能しており、商店街の空店舗対策にも貢献しています。 <p>※利用者(外国人)からの声をお聞きの場合、感想の主な内容をご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の言葉や習慣がわからず、家に閉じこもりがちであったが、ここに来ることで日本の生活にも慣れ親しむようになった」、「地域の方々と交流により、日本での生活をエンジョイしている」、「来日間もないころ、子供が熱を出して困っていた時に、病院への案内や通訳を頂き、感謝している」などの声をいただいています。 ・また、在住外国人メンバーも含め、メンバーそれぞれの得意とするところや関心事を持ち寄り、学び楽しんだり、悩みや困りごとを支援したり、助け合うことで、日常生活の拠りどころとなっています。

	<p>※成果に係る数値情報をご記入ください。 例：外国人観光客／国内観光客別の利用数（訪日観光客の取込みに係る事業・活動の場合）、相談件数、イベント等の集客数、サイト等へのアクセス数 など</p> <p>・「コミュニティカフェ」利用者数</p>				
		来店者数	イベント開催件数		困りごと相談件数
			サロン・セミナー	世界の民族音楽を聴く夕べ	
	平成 22 年度	12,250 人	12	12	42
	平成 23 年度	11,800 人	12	12	38
	平成 24 年度	12,280 人	12	12	43
	平成 25 年度	13,000 人	24	12	40
	平成 26 年度	14,800 人	24	12	38
	平成 27 年度	16,000 人	24	12	32
	平成 28 年度	17,500 人	26	12	40
平成 29 年度	19,200 人	26	12	43	
<p>※マスコミ等の取材、他地域からの視察や研修等の受け入れがありましたら、取材先と件数、受け入れ先と人数等をご記入ください。</p> <p>・〇〇新聞（平成 25 年 3 月 20 日付）</p> <p>・〇〇放送の取材・放映（平成 26 年 7 月 15 日）</p> <p>・△△新聞（平成 28 年 5 月 10 日付）</p>					

4. 取組上の課題と今後の展開

取組上の課題及び今後の展開	<p>※取組みを行う上で直面する課題がございましたらご記入ください。また、事業の今後の展開についてもご記入ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、事業を継続・拡充していくためには、人材の育成が急務となっています。そのためにも、現在は整理されていない人材育成マニュアルの作成が必要です。また、新たな雇用を創出するためには、利用者の拡大や企業等との協働が必要であると考えています。 ・当団体の活動は、国際交流の場として、また、地域に居住する留学生や外国人の日常生活の拠りどころに資していますが、近年では、遠方からの利用も頂いています。 ・利用者にとっては、居住地に当施設のような空間が存在することが望まれることから、今後、他地域でも活動を展開をしていければと考えています。